

日本医師事務作業補助者協会広島県支部
第1回マネジメントセミナー&第4回実務者のためのセミナー 報告書

【日時】：2025年9月7日（日）13時15分～16時20分

【方式】：オンライン会議システム Zoom 使用

【プログラム】

講演①

「どうなる、これからの医療 DX 政策 ―電子カルテ情報共有サービスに向けて―

MICT コンサルティング 代表取締役 大西 大輔 先生

講演②

「診断名を正しく読み解く力 - ICD-10 の実践知識」

川崎医療福祉大学 医療福祉マネジメント学部 医療データサイエンス学科 講師

虫明 昌一 先生

【開催報告】

2025年9月7日（日）、オンラインにて「第1回マネジメントセミナー」および「第3回ひろしま実務者のためのセミナー」を開催いたしました。全国から約50名の方にご参加いただき、世話人一同、心より御礼申し上げます。

今回のセミナーは、「医療情報」をテーマに、「なんとなくから一歩前へ！」を合言葉として、現場とマネジメントの両面から医療情報の現状と実務に活かせるエッセンスを学ぶ機会となりました。

はじめに、日本医師事務作業補助者協会 理事・武田まゆみ先生よりご挨拶をいただき、セミナーが開会いたしました。

大西先生からは、「3文書6情報」や「電子カルテ共有サービス」など、医療DXに関するキーワードをもとに、今後の制度動向や医師事務作業補助者に求められる役割について、最新の情報を交えてご講演いただきました。

参加者からは、「医療DXの現状が理解できた」「国の方針と現場の乖離が明確になった」「勤務先では教えてもらえない内容を学べた」といった声が寄せられ、医療DXに対する理解が深まるとともに、今後の業務への関わり方を考えるきっかけとなったようです。

また、「医師事務作業補助者の視点で話していただけたことがよかった」「今後の働き方を見据えることができた」といった意見もあり、まさに“なんとなく”から一歩踏み出す学びの場となりました。

続いて虫明先生からは、日々の業務で関わることの多い「ICD-10コード」についてご講演いただきました。ICD-10は診断書やカルテ作成など多くの場面で使用される重要な知識であり、講演ではその基本構成や診断名との対応の考え方について、丁寧に解説いただきました。

アンケートでは、「32 時間研修では扱われないが、実務では必要な内容だった」「ICD-10 の正しい解釈ができた」「ただコードを入力するだけでなく、その意味を理解できた」といった声が多く寄せられ、実務に即した学びが得られたことが伺えます。

また、「自院の運用に課題があると気づき、上層部に提案したい」といった具体的な行動につながる感想もあり、参加者の意識変化が感じられる内容となりました。

今回のセミナーでは、参加者の皆様から日頃の業務に関する多くの質問も寄せられ、大西先生・虫明先生のご講演で得た知識を今後の業務に活かすための、まさに「一歩前へ」進む貴重な機会となりました。

今後も広島県支部では、実務者のスキルアップに繋がる内容を企画し、定期的に地方会・セミナーを開催してまいります。

なお、次回は 2026 年 1 月ごろに「退院サマリー」や他の病院の方々とのグループディスカッションを企画中です。現在準備段階ですが、詳細が決まり次第ご案内いたしますので、どうぞご期待ください。

報告者：広島県支部 中国中央病院 中原 規寿